

財団法人地域生活研究所 2010年度

「一般研究助成」選考委員会報告

2010年9月30日に締め切りました、一般研究助成には21件(海外から3件)の応募がありました。12月2日(木)に選考委員会(委員長青山侑氏)を開催した結果、3件の採用を決定いたしました。助成額は40万円1件と30万円2件です。

以下に採用となりました3件の概要を公表いたします。

子育て期の母親によるビジネス展開の可能性に関する研究

研究責任者：梅田 直美

助成額 400,000円

概要： 子育て期の母親によるビジネス展開の可能性と課題を明らかにすることを目的とし、①子育て期の母親が起業した事例整理と当事者へのインタビュー調査、②子育てサークル等の母親を対象とした起業の意向についてのアンケート調査、③企業等の企画担当者を対象にした子育てサークル等と連携した事業展開の意向についてのアンケート調査を行う。

中国における青果物直売所の展開と課題に関する研究

研究責任者：宋 曉凱

助成額 300,000円

概要： 中国都市部で展開されている青果物直売所へのヒアリング等による調査に基づき鮮度と安全性管理の実態を踏まえた上で、その課題を明確にする。

高齢化・「オールドタウン」化するニュータウン地区における ケア付き共同住宅・まちづくりのニーズと可能性を探る

研究責任者：中村 義哉 助成額 300,000円

概要： 大阪府泉北ニュータウン地区を拠点に地域諸団体の協力を得た上で、アンケート調査やヒアリング調査を行い、「ケア付きの共同住宅」という視点を通して、成熟社会・高齢社会期における市民協働型の住まい・地域コミュニティの再編成のニーズと可能性を探る。

★都内基礎自治体データブック(2009年度版)の冊子が出来上がりました。

ご希望の方に送料実費にて頒布いたします。



食と農について考える

特集： 農の再生・食の安全

- ★ 伝統野菜を食べ続ける意義
- ★ 東京の農業の目指すべき方向
- ★ 世田谷区の都市農業に関する取り組み
- ★ これからの食品安全リスクコミュニケーション
- ★ 多様化する食品安全行政 他

『まちと暮らし研究』11号を発行いたしました。

ご希望の方は、送料¥300で頒布します。

TEL：03(3383)8292 FAX：03(3383)7840

河合まで。